

会 議 録

会 議 の 名 称	第8回所沢駅周辺まちづくり連絡協議会
開 催 日 時	令和2年10月12日(月) 15:00~17:15
開 催 場 所	所沢市本庁舎 8階大会議室
出席者の氏名	委員 岸井 隆幸、内田 勉、佐藤 龍一、内野 誠、朝日 直樹、井関 克行(代理)、藤井 義明、市川 雅巳、酒巻 満、真庭 輝明、木村 一男、鈴木 由紀子、古谷 眞一、日橋 忠洋、樋口 清秀、久保田 尚、川上 一人、植村 里美、埜澤 好美、吉田 直樹
欠席者の氏名	委員 小谷野 貴臣、大木 敬治、田畑 大介、中沢 善明、内野 一郎、島田 孝男、平岩 敏和
説 明 者 の 職・氏名	西武鉄道株式会社 内野 誠 所沢駅西口区画整理事務所 参事 工藤 順一 商業観光課長 柳田 晃芳 都市計画課長 高野 淳 経営企画部長 川上 一人
議 題	(1) まちづくりの進捗について (2) 歩行者ネットワーク形成に向けて (3) 商業部会について
会 議 資 料	・次第 ・所沢駅周辺まちづくり連絡協議会委員名簿(配布資料1) ・所沢駅周辺まちづくり連絡協議会(第8回)説明資料(配布資料2) ・所沢駅周辺まちづくりロードマップ(配布資料3) ・「グランエミオ所沢」9月2日(水)開業(配布資料4) ・「都市拠点土地利用デザイン事業」の実施方針(配布資料5) ・所沢駅の発着メロディを「となりのトトロ」および「さんぽ」に変更します!(配布資料6)
担 当 部 課 名	経営企画部 参事 市川 勝也 市民部 地域づくり推進課 課長 田中 廣美 産業経済部 次長 鈴木 明彦 商業観光課 課長 柳田 晃芳 街づくり計画部 次長 畑中 武 参事 下川原 優一 参事 佐藤 雅 所沢駅西口区画整理事務所 参事 工藤 順一 主査 萩原 信宏 主査 郡山 馨 主任 大平 静 都市計画課 課長 高野 淳 市街地整備課 課長 鎌田 実幸 主査 小川 桂子 主任 岩田 堯之 主任 田中 栄 主任 山賀 将来 市街地整備課 電話 04-2998-9208

		<p>※『議題（１）まちづくりの進捗について』の残り、『歩行者ネットワーク形成に向けて』及び『商業部会について』の説明及び質疑応答をまとめて実施した。</p> <p>なお、説明及び質疑応答に関する内容は公開。</p>	
会	長	傍聴希望者がいらっしゃれば、入場を願います。	
事	務	局	配布資料２を基に、「まちづくりの進捗について」と「歩行者ネットワーク形成に向けて」を所沢駅西口区画整理事務所より、「商業部会について」を商業観光課より説明を行う。
委	員	<p>４点ほど質問がある。</p> <p>１点目として、北街区の再開発ビルに郵便局ができた影響で、ワルツ前の郵便ポストが撤去されることになった。今まで３０年以上利用されてきたポストであり、現在も需要があるため維持することはできないか。</p> <p>２点目として、豊川稲荷の移転についてはお稲荷様が祀られている施設であるため、移転させないで工事を行う方法を協議し検討する必要がある。</p> <p>３点目として、アンダーパスは商業施設にとって必要不可欠な施設である。令和８年の工事完了としているが少しでも早く完成できるよう、早期工事着手を検討してほしい。</p> <p>４点目として、ロータリーに全ての機能を求めてはいけないと以前の協議会でも協議している。現時点で既に幅員３２ｍ道路の歩道整備が始まっている状況であるが、ロータリーの機能を一部道路等に移すことができないのか。</p>	
事	務	局	<p>１点目のワルツ前のポスト撤去は、県道沿い（パークホテルのはす向かい）にあった郵便局が、再開発ビルの中に移転した影響で生じたと考えられる。郵便局からワルツ前のポストの撤去に関する情報は聞いておらず、残すことを希望されている様なので、一度、郵便局に確認しておく。</p> <p>２点目の豊川稲荷については、ふれあい通り線側道の歩道部分にかかっている。土地区画整理事業での整備を計画しているため、移転についても現在検討を進めている。移転は最小限になるように検討していきたい。</p> <p>３点目のアンダーパスについては、市としても早期完成を目標としている。鉄道の西側については土地区画整理事業による面整備が進めるが、東側は民地の用地買収を行う街路事業による整備となるので時間がかかることも想定される。来年度若しくは再来年度には工事に着手できるよう西武鉄道株式会社とも協議を進めているところであり、早く工事着手できると考えている。</p> <p>４点目の駅前ロータリーの機能については、バスやタクシーなどの待機場所としての機能を外に出すことについては、今後の整備に合せ整備していきたいと検討していきたいと考えている。</p>
委	員	<p>配布資料２について、所沢駅西口ロータリーに関する６頁と７頁の内容は具体性に欠ける内容である。市民の要望に対してこのような市の考え方を押し付けてはいけぬ。漫画のような検討資料を出され、忙しい中集まっている委員に何を検討させたいのかわからない。</p> <p>西口ロータリーは１０年間掃除をしているため、利用状況については良</p>	

		<p>く理解している。子供の塾や通勤に伴う送迎の車、更に株式会社浅田館のバス、ベルヴィザグランのバス、ところバス、松が丘行きのバスが利用しており、ロータリーの中にバスが3台停車している時間帯もある。このような利用状況にも関わらず、このような漫画を出して、市長は何を考えているのか。また、大学の専門分野の先生方は監修しているのか。連絡協議会で協議をするのであれば、このような資料では情けない。検討資料として、最低でもドーナツ型で2階建ての構想にし、人と車を分離するような具体的な案を提示する必要があるのではないかと。連絡協議会でこのような漫画で検討を行うのはおかしく、仮に市長の考えであれば市長に対し不信感を抱くことになる。</p> <p>このような漫画で本気で人が主役のロータリーを考えているのであれば、まずは自分達が車を降りるべきである。車依存型の世の中であるのに、このような漫画を提出し、人中心のまちづくりを目指している状況は非常に情けなく感じる。</p>
事	務局	<p>7頁の図面は広場検討のイメージとして提出したもので、ロータリーの配置構成を表現したものではない。現時点では、バスなど公共交通の機能はロータリーに残していかなければならないと考えている。それでもバスの待機スペースなどの余剰空間が存在していると考えられ、その空間を歩道空間への活用を模式的に示したのである。</p>
委	員	<p>前回の協議会でも所沢駅西口ロータリーについては協議をしているが、今回より前回の方が具体的な内容であったと思われる。</p>
事	務局	<p>確かに前回の協議会ではロータリー型、アイランド型、複合型及び公共交通機関と一般車両の分割する案などを提示している。前回の絵図の様な具体的な描写をお示し出来なかったことについては、申し訳ない。本日は改めて模式的なものを提示し整備に向けた考え方を表したものであるが、前回までに提示した案を考慮しないわけではなく、前回までの協議内容も継承し今後検討を進めていきたい。</p>
委	員	<p>ロータリーの検討としては、平面的に分割して検討する方法と立体的に分割して検討する方法と、両方の案を検討して良いと考えている。個人的には立体的に検討することが良いと考えており、上に広場空間を設け、下に自動車利用エリアと歩行者利用エリアを設けることにより、屋上庭園のような風景となり、歩行者が雨天時も傘を差さずに移動できると思われる。</p>
委	員	<p>推測になるが、市としても大きなロータリーが2つ並列するような構造を示すために資料を提示しているのではないかと考えられる。</p> <p>おそらくプロペ通りや北側の商店街（所沢ファルマン通り商店街、所沢昭和会）との連携を考え、どうにか平面的にロータリーの広場空間が計画できないかという提案だと思われる。</p> <p>今後、広場空間として成立するか、又は自動車空間が足りるのかなど、慎重に精査する必要がある。精査の過程で重要な事項がいくつかあり、その中の一つがバリアフリーの観点であるが、所沢市はバリアフリーについては既に熟知されているため心配はないと思われる。新しい事項としてはスマートシティーの観点からの考え方である。具体的な内容としては、バスやタクシーなどの乗客の待ち方として、従来のロータリー内で待機する形式ではなく、通信機器を使用し必要な時に必要な分の車両がロータリーに来る形式など、IT時代におけるロータリー広場の考え</p>

		<p>方である。このような新たな観点で検討を進めることにより、平面的な計画や立体的な計画の他、新たな案が計画できる可能性がある。</p>	
会	長	<p>バスの待機スペースやタクシープールなどの機能を外に出し、IT機能と連携するような構成のロータリーを複数案検討いただき、具体的な図面を作成し提供していただきたい。</p> <p>更に、バリアフリーや送迎の一般車両、公共交通などにも配慮しロータリー内の車両の軌跡図などを作成し検討する必要がある。市の方針として歩行者空間を確保したいという意図は理解できるが、具体的な図面を作成し、関係各所との協議を実施し、検討することが必要だと考えられる。</p>	
委	員	<p>自転車についてどのように検討するかが大きな問題だと思われる。自転車の利用状況を把握することにより、必要な駐輪場の規模を検討する必要がある。広場空間を検討する際には、歩行者、広場の利用者及び自転車の利用者が安全に移動できる方法を考えていく必要がある。</p>	
会	長	<p>所沢駅前には余地が全くない状況ではあるが、今回の整備によって少しずつ余地が生まれていると思われる。蓄積された余地をどのように使うかが今後の課題となると思われるため、検討をお願いしたい。</p>	
委	員	<p>所沢市は『所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例』を作っているが、身体障害者に対する配慮が足りていない。</p> <p>今回、公共交通を担当している経営企画部がいるのにも関わらず、所沢駅の前に広場空間を計画し、奥に自動車交通空間を計画していることに納得がいかない。東口はグランエミオのオープンに併せ、タクシー乗り場まで手摺が設置されているが、西口にはない。更に、このような配置では身体障害者がタクシーを利用する際に移動する距離が非常に長くなってしまい、身体障害者に対する配慮の無さを感じる。</p> <p>西口駅前ロータリーについては、送迎に関する自動車や公共交通機関が多く、多くの市民がロータリーを使用している状況である。このような状況の中、所沢市には身体障害者用の駐車スペースの設置をお願いしたい。ロータリーの中には5台程度駐車スペースがあるが、身体障害者専用の駐車場はない。所沢市民としては他県他市の方が所沢市に来た時に所沢市が良い街だと感じて欲しい。駅を降りた際に、身体障害者用の駐車スペースを整備することで、所沢市が優しい街だとアピールすることができるため、検討し実行していただきたい。</p>	
事	務	局	<p>所沢市障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例があるように、身体障害者の人に配慮したまちづくりを検討したい。</p>
委	員	<p>商業施設の駐車場の確保など話があったが、ロータリー内には西友の搬入路やプロペ通りの入り口などがあり、車両の搬入出がある。交番の前には横断歩道があるが、しばしばトラックが停止しているのを見受けられる。このような状況下の中、ロータリー内での広場空間の創出は難しいのではないかと感じている。</p> <p>また、「所沢まつり」では山車がロータリーに集まってくる。広場空間を設けることにより所沢まつりが例年通りに行えない可能性もあるので、検討していただきたい。</p>	

会	長	周辺部も含めた具体的な内容を複数案作成し、今後協議を行うことが望ましい。	
委	員	東町の広場空間は、所沢駅周辺との回遊性の創出を目的の一つとしているが、歩行者をどのように誘導するか方策があれば説明いただきたい。また、所沢市は昨年環境に優しいまちづくりで日本一になっている。このような実績を活かし、まちづくりを進めていただきたい。	
事	務	局	東町の広場空間に歩行者を誘導するには、現状のままでは難しいと思っている。特効薬的な具体的な方策はないが、5頁に示す様に、空間を活用しながらカフェなどを点在させることで東町の広場との回遊性を創出できればと考えている。
会	長	商業施設の中身にもよると思うが、せっかく良い広場なので、活用できるよう検討してもらいたい。	
委	員	所沢プロペ商店街振興組合と所沢市にお願いしたいが、プロペ通りのインターロッキングを一部撤去した部分があり、段差が発生し歩行の障害となっている。またプロペ通りのお店については、昔ながらのお店もあるが、歌舞伎町のような小規模なお店が点在しており、印象が悪く、昔のように軽く物見遊山できなくなっているため、対策していただきたい。 また、10頁に示されている「道路・路地の整備」（青点線部分）については、行き止まりの解消や回遊性の向上が望めるため、是非整備していただきたいと考えているが、全く事業の進捗が感じられない。まちづくり協議会で提示するのであれば、検討するだけでなく是非実行に移していただきたい。また「道路・路地の整備」に併せ、一部照明設備が不足している部分についても、新たな照明設備の設置等の検討をしていただきたい。 今は所沢駅からFライナー（東横線への直通乗入列車）が出ており、横浜や東京で楽に買い物できる時代である。所沢市民として所沢で買い物をしたいが、所沢駅周辺で必要な物が購入できないのが現実である。所沢市民が所沢市で買い物できるようなまちづくりを行わない限り、所沢市の衰退が目に見えているため、今後も検討をしていただきたい。 プロペ通りを中心とした回遊性の創出は、以前から検討している内容であるため、予算を確保し実現する必要がある。実現してこそまちづくり協議会を開催している意味があると考えている。	
事	務	局	協議会の中でいろいろと提案させていただいているが、実現できていない提案がいくつかあり、「道路・路地の整備」もその中の1つだと理解している。できるだけ早期に目に見える形で対応できるように努力したい。
会	長	本日の協議会で得た様々な意見を考慮し、今後具体的に検討を行っていただきたい。	

6. その他 都市計画課より、所沢駅周辺の大規模事業について完成の見通しがたってきたため、完成後のまちの姿をイメージし、行政と市民で共有できるビジョンの作成を進めている旨を説明。 【資料5】

経営企画部より、令和2年11月3日の市政施行70周年記念日に伴い、所沢駅の発車メロディが『となりのトトロ』の楽曲に変わる旨を説明。 【資料6】

事務局より、次回の連絡協議会は決定次第連絡する旨を説明。

7. 閉 会 司会より閉会（終了）。

(以上)